

共感・共育・共働・共生

本年度も残り2か月となりました。来年度の新たな歩みを始めていくため各事業所では、一年間の事業内容を振り返り、利用者の思いに寄り添った真の支援となっていたかを思いおこし、考えていく期間としています。

社会福祉法人ドリームヴィは、「障がいのある人も、ない人も、共に生きていく社会の創造」に貢献できるよう力を尽くしてきました。日々の各事業所の活動において、利用者の皆さんの素晴らしさを社会に知ってもらう活動、ふれあいのある活動こそが、共に生きる社会を創っていくことにつながると考えております。

「共生社会」は、人とのつながりが実感できるため、意欲的に生きる気概が得られやすい社会であると言われています。皆が互いを認め合い、共に生きようとする社会の中では、おのずと気持ちが前向きになり、それが良い人間関係に連鎖していきます。そんな共生社会の実現には、障がいのある人とのふれあいや、共に活動し、共に成長していく機会が大切になります。そのようなふれあいの場となる活動を各事業所の中心的な活動に位置付けていきます。

法人アドバイザーのご紹介



法人経営にご助言をいただくために、お二人の方にアドバイザーをお願いすることとなりましたので、ご紹介いたします。

藤井 亘 様（社会福祉法人昴 理事、NPO 法人クローバー事務局長）

本多 公恵 様（社会福祉法人 滝乃川学園）

各事業所を見ていただき、法人の経営についてアドバイスをいただきます。

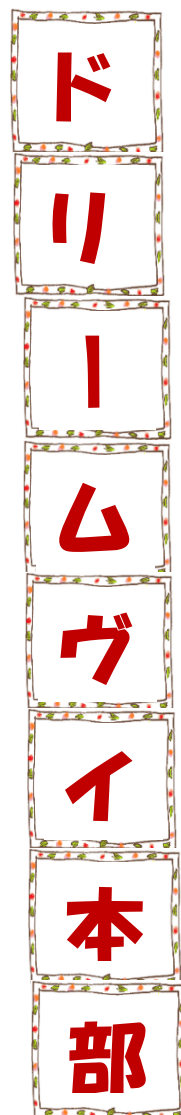
☆お知らせ☆☆☆



生活支援部門の原田部門長は、利用者の引っ越し作業の際に足を骨折する怪我をしてしまいました。そのため、当分の間、治療に専念してもらうことといたしました。その間の対応等は、本部の事務局等で対応いたします。



電気料金、ガス料金等の高騰により、各事業所の支出が増額しています。社会全体の課題でもある光熱費の節約に法人全体で努めいきます。



だより

NO.11

2023年
2月1日